③点検結果一覧表【様式B-3, B-4】

点検結果、調査方針、措置方針及び過去の調査や措置の履歴を記録する。なお、点検結果総括表に関しては、トンネル本体工とトンネル内附属物の取付状態に分けて記載を行うものとする。

点検結果一覧表（トンネル本体工）の例

■点検調書　点検結果一覧表（トンネル本体工）【様式 B-3】

フリガナ	○○トンネル	路線名		点検業者・点検者名	○○・○○	点検年月日	2014年1月1日
名　称	○○トンネル	管理者名	広島市○○区役所	調査業者・調査技術者名	○○・○○	調査年月日	2014年2月1日

	覆工スパン番号	変状番号	距離（m）	変状部位		変状の内容				前回点検時の状態		点検・調査履歴					措置履歴		対策方針・特記事項
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の規模	前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	調査の実施	対策区分の判定	措置の要否	健全性	実施	健全性（措置後）	
点検結果	S1	1	5.1	覆工	左アーチ	外力	縦断方向のひび割れ	幅3.5mm×長さ5.0m	進行が認められる		Ⅱ	(要) 否	済	Ⅲ	(要) 否	Ⅲ	継続監視		
	S1	1	6.7	覆工	右擁壁	材質劣化	目地部のうき	0.8m×1.5m	新規発生	―	―	要 (否)	―	Ⅲ	要 (否)	Ⅲ	済		たたき落とし
	S1	1	10.3	覆工	右アーチ	漏水	目地部からの漏水		進行が認められない		Ⅱ	(要) 否	済	Ⅱb	(要) 否	Ⅱ	―	―	
	S1	1	12.0	内装板	右側	破損	内装版の破損	0.1×0.3	新規発生	―	―	要 (否)	―	Ⅳ	(要) 否	Ⅳ	済	Ⅰ	取替
	S2	1	5.0	漏水対策工	左側	亀裂	漏水対策工(樋)に亀裂	幅1mm×長さ50mm	新規発生	―	―	要 (否)	―	Ⅱb	(要) 否	Ⅱ	―	―	
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				
												要　否			要　否				

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること

※1スパンの覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること

点検結果一覧表（トンネル内附属物の取付状態）の例

■点検調書　点検結果一覧表（トンネル内附属物の取付状態）【様式 B-4】

フリガナ	○○トンネル	路線名		点検業者・点検者名	○○・○○	点検年月日	2014年1月1日
名　称	○○トンネル	管理者名	広島市○○区役所	調査業者・調査技術者名	○○・○○	調査年月日	2014年2月1日

	覆工スパン番号	変状番号	距離（m）	変状部位		異常の内容		前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対策方針・特記事項
				対象箇所	部位区分	異常の種類	異常の範囲・規模	状態	健全性	調査の要否	調査の実施	健全性（点検後）	措置の内容	実施	健全性（措置後）	
点検結果	S4	1	5.1	照明（金具）	取付部	ボルトの欠損	1か所					×	ボルト再設置	済	○	
	S8	1	32.5	照明（本体）	本体カバー	カバーの損傷	1箇所					×	カバー交換	済	○	

※ 異常の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること

※1スパンの覆工に複数の異常がある場合は、異常箇所毎に記入すること

④調査・措置の履歴の記録

変状の原因特定のためなど、調査等を実施した場合に記録する。

調査・措置の履歴の例

■点検調書　調査・措置の履歴【様式 B-5】

フリガナ	○○トンネル	路線名		点検業者・点検者名	○○・○○	点検年月日	2014年1月1日
名　称	○○トンネル	管理者名	広島市○○区役所	調査業者・調査技術者名	○○・○○	調査年月日	2014年2月1日

	覆工スパン番号	変状番号	調査履歴					措置履歴		
			調査年月日	調査内容	調査結果	対策区分の判定	健全性（調査後）	措置年月日	措置内容	健全性（措置後）
調査・措置履歴	S1	1	2014年2月1日	○○試験	○○を再確認する必要有	Ⅲ	Ⅲ	2014年2月1日	監視（ひずみゲージ設置1回/2ヶ月）	
	S2	1	2014年2月1日	○○調査	○○を確認	Ⅱb	Ⅱ	不要	—	—